TECHNIX ADVANCED SMART CARTRIDGE

TASC for HONDA GROM

2013–2020年モデル（JC61–JC75）

ノーマルフロントフォークにダンピングアジャスターを後付け！
高機能カートリッジフォークへ GROM をアップグレード！

TASC 内部イメージ
（写真は MT-09）

TASC for HONDA GROM 13-20 年モデル（JC61-JC75）￥105,600（税抜¥96,000） TASCGROM

TASC は部品単品での販売はしておりません。TASC の組込みには高度な技術を要するため、弊社にて組込み作業を行います。表示価格には組込み工賃が含まれております。

TASC 組込み時に消耗部品の交換料金 ￥8,580（税抜¥7,800）
交換部品：スライドメタル、ガイドメタル、ダストシール、オイルシール

ノーマルフォークスペック			TASC フォークスペック			
ダンピングアジャスター非装備	ダンパーロッド式	▶	伸側 ダンピングアジャスター	圧側 ダンピングアジャスター	カートリッジ式 高性能積層シム	専用 フォークスプリング

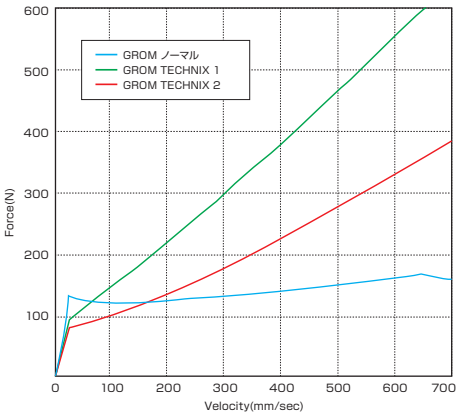
専門各誌で大絶賛！ 最強グロムフォーク誕生！

純正のフォークには調整機能がなく、早い動きに対応できないダンパーロッドタイプのフロントフォークを採用する GROM。低速での乗り心地はいいですが、スピード域を上げると途端に踏ん張りがきかなくなります。ブレーキングでは一気にボトミングするまで入り、ストローク量も多くキャスターが立ちます。さらにハンドルが切れ込みやすくなり、突然のフルブレーキングに対応できません。また、前後のピッチングが大きくコーナリング中はかなり不安定になります。

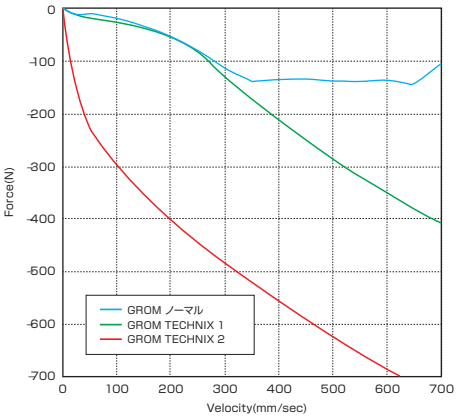
そこで Technix では TASC キットを GROM 用に開発。積層シム型バルブシステムを用い完全カートリッジ化。片側をコンプレッションダンパー、もう片側をリバウンドダンパーの左右独立調整式システムに大きく変更。スプリングレートも見直し最適化。ダンピングにワイドな調整幅を持たすことで、ストリートからスポーツ走行までの幅広いシチュエーションで最適な特性を得ることが可能に。

ダイノテストと実走行テストで、様々なライディングフィールドのセッティングデータをチャート化し仕様を決定しています。

GROM TASC コンプレッションの比較例



GROM TASC リバウンドの比較例



ストリートセット 低速、低荷重でも乗り心地を損なわないように減衰力は弱め、小さなギャップ通過時の突き上げも確実に吸収しライダーへの不快感を大幅に軽減。フロントタイヤが路面に留まるよう伸び側減衰を若干効かせ気味にセットアップ。

ワインディングセット 積極的にバイクを旋回させるため、ブレーキを当てながらコーナにアプローチすることを前提にストリートよりも圧側減衰を強めに掛ける。切り返しで軽快に車体を操る為にあえてリバウンドはストリートセットと同じ。コーナリング中の前後のピッチングをなくし、ライディングを楽しむ仕様にセットアップ。

サーキットセット ブレーキングをハードに掛けられるように圧縮減衰は強め。それに伴いフルバンク状態でもフロントタイヤを路面に留まらせる為にリバウンドも強めにセット。フロントタイヤにしっかりと荷重を掛け、積極的にライダーがマシンを曲げていける仕様で、サーキット走行で「攻める」走りをするライダー向けのセットアップ。

弊社テストでは、リアショックを「NITRON　R3 シリーズ」を装着してテストしております。車体のバランスを取るために同ショック又は同等の社外品への交換を推奨致します。同ショックを装着の場合には、各ステージごとのリアショックセットアップデータの提供も可能です。

Technix racing suspension
有限会社テクニクス

［ご注意］：製品の改良・相場の変動により、価格・仕様は予告無く変更される場合があります。掲載の色調は環境により実際と異なる場合があります。